



PTA新聞

1月号

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/鬼頭 良典
編集/広報委員会

県P連ホームページアドレス
<https://fukuokaken-pta.jp>



新年あけまして おめでとーう ございます。



皆さま方におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
旧年中は、福岡県PTA連合会の諸活動に対し、格別のご理解ご協力を賜り心より感謝しております。本年もどうぞよろしく願いいたします。
さて、本年は「巳年」であります。へびは、脱皮を繰り返して成長していくことから、再生や繁栄の年といわれているようです。福岡県PTA連合会といたしまして、へびのように脱皮を繰り返して、時代のニーズにあった事業を展開してまいります。本年も引き続き、課題に真摯に向き合い、皆さま方からのご意見を尊重しながら、必要とされる組織づくりをめざして、まい進していく所存です。

PTA活動に正解はありません。正解のない問いには前向きな合意形成が必要です。真に子どもたちのためになっているか、学校教育の支援につながっているかを常に意識しながら取り組むことが大切です。学校教育の最大の応援団として、それぞれの単位PTAのさらなる発展を願っております。本年も福岡県の子どもたちの健やかな成長を願うとともに、保護者と教職員の皆さまの益々のご繁栄とご活躍を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。



福岡県PTA連合会 会長
鬼頭 良典

1月号 もくじ

- 1面▶▶▶ 新年のごあいさつ (会長 鬼頭良典) 第4回まなびのひろば開催のお知らせ
- 2面▶▶▶ PTA学校給食教室レポート 食べるってなかに 子ども体験学習事業のお知らせ
- 3面▶▶▶ 九P長崎大会参加レポート
- 4-5面▶▶▶ 単Pが主役！PTA通信
- 6面▶▶▶ 県P×県・県教委 陳情対談会・教育懇談会報告
- 7面▶▶▶ 子育て研修会レポート
- 8面▶▶▶ 県教委通信/科学館情報

第4回 まなびのひろば

「ポンコツ一家」～ピン芸人“にしおかすみこ”の愛する家族のエピソード～



ご参加
お待ちしております！


お笑い芸人・エッセイスト **にしおかすみこ** 氏
2007年日本テレビ「エンタの神様」で女王様キャラのネタでブレイク。現在ではテレビ東京「なないろ日和」など、リポーターとしても活動。FRaUWEB連載1回目で1200万PVを超え、話題となった家族と介護のエッセイ「ポンコツ一家」(講談社)がベストセラーに。第2弾の「ポンコツ一家2年目」が9月20日に発売。親と子のリアルな胸の内や家族のポンコツな一面を愛情たっぷりに話すエピソードが反響を呼んでいる。

日時 令和7年2月8日(土) 13:00～
会場 パピヨン24ガスホール (福岡市博多区千代1-17-1)

今を見つめ、共に創る
～持続可能なPTA活動をめざして～

- プログラム**
- 12:00～受付
 - 13:00～13:50 ステージ発表
 - ・福津市立勝浦小学校による演奏・発表
 - ・直方市立直方第二中学校による演奏
 - 14:00～15:00 “新”家庭教育宣言実践報告
 - ・親子で通学路の安全を考えよう! 【福岡ブロック】
筑紫野市立二日市小学校PTA
 - ・HUG KUMU～紡ぎあう 那中 プロジェクト～ 【福岡ブロック】
那珂川市立那珂川中学校PTA
 - 15:15～16:45 基調講演
- 講評: 福岡県教育庁 教育振興部 社会教育課

定員500名
申込期限: 1/22まで
※応募多数につき抽選となります

お申し込みは
こちらから! 
<https://forms.gle/6u9rY3HwqAeDAC2V6>
参加対象者: すべての会員が対象です(親子参加可)

子どもに人気の給食メニューを調理実習♪

令和6年度

PTA学校給食教室



子どもたちの健やかな成長に欠かせない「食生活」への理解を深めるためのPTA学校給食教室（主催／福岡県教育委員会、福岡県PTA連合会、福岡県学校給食会）が、10月11日・筑豊地区、11月14日・京築地区、12月3日・北筑後地区で開催されました。朝食の大切さや学校給食の役割などについて学び、その後は実際の給食の献立を作る調理実習。栄養があつて子どもたちがおいしく食べられるよう工夫されたレシピが「参考になる！」と毎年大好評です。また、学校給食がどのように作られているか、食材の産地や衛生管理についても学ぶことができました。参加者からは、「他の地区の方とも交流や情報交換ができたので、ぜひ他の方にも参加していただきたいです（北筑後地区）」、「大人になつてからの調理実習が新鮮で楽しかった（筑豊地区）」などの感想が寄せられました。

★レシピは公益財団法人福岡県学校給食会のHPで公開中！

京築

麦ごはん、さばのごまだれ焼き、切干大根のサラダ、根菜の豚汁、牛乳

筑豊

麦ごはん、豚肉と野菜のりんごみそ炒め、のり塩れんこん、まびき菜とジャコのふりかけ、きのこたっぷりだんご汁、牛乳

鬼頭県P会長も張り切って参加！

北筑後

クロダマルごはん、ピビンバ風炒め、野菜の筑前姫酢和え、蒸し雑煮風汁、牛乳

ケーブルテレビの取材も！

山際千津枝の — マングースの独り言 — Vol.125

食べるってなあに

北九州の小倉に60年間暮らし、福岡に越して17年（足し算禁止）。子どもの頃は冬になると夕食にフグやカワハギのような白身魚を使った「ちり鍋」が度々、食卓に上りました。味をつけていない昆布だしの中で豆腐や白菜、椎茸、糸こんにゃくや春菊などと煮てポン酢でさっぱりいただきます。

「ちり鍋」というのは熱いだしの中で新鮮な魚の身がチリッと反り返る様を見て名づけられたのだとか。

福岡に越してから度々食べるのが「鶏の水炊き」。骨付きの鶏肉を水から入れて長時間炊き、スープ、肉、野菜と順にこれもまたポン酢でいただきます。

福岡にがめ煮や焼き鳥など鶏料理が多いのは、江戸時代に福岡藩が養鶏を推奨して、卵を大阪方面に出荷することで財政を立て直そうとしたから。

今回は子どもさんが好きそうな鶏を使ったすき焼きを作りました。牛肉よりも経済的で失敗なく作れます。

- 【鶏すき】※4人分くらいの材料です。**
- ①まず調味料「割り下」を作ります。ポウルに水とみりんを各1カップ、しょう油を2/3カップ(150ml)、砂糖を50g入れてよく混ぜます。
 - ②すき焼き鍋か浅めの鍋に割り下を入れます(全部入れず、少量

やまざわ・ちづえ
食をコミュニケーションツールと考えている料理研究家。その他エッセイスト・テレビラジオのコメンテーター。現在は博多阪急デパートにおいて地下食品販売部アドバイザーを務める。

郷土の料理作ってみましょう



残しておいて後で調節してください)。

- ③鶏肉500gは一口大に切り、糸こんにゃく1袋は茹でて5センチくらいの長さ、焼き豆腐1丁は8等分の奴(やっこ)に切り、白ネギ1本は2センチ幅の斜め切り、ゴボウ150gはよく洗ってササガキにし、水にさらしておきます。エノキは石づきを取ります。
- ④割り下の入った鍋に全ての材料をぎっしり美しく並べ、中火にかけてグツグツと煮て、火の通ったものから順に召し上がれ。溶き卵につけていただくとおいしいです。

お鍋の中の具が減ってきたら割り下を足して、キャベツの葉4枚くらいを5センチ角に切ったものと春菊をさっと煮ます。最後にうどんを2玉入れて締めにします。割り下の量と火加減に気をつければ、まず失敗することはありません。

「豆腐を奴(やっこ)に切る」「ゴボウのササガキ」など、わからない言葉があれば調べてくださいね。

同じ春菊でも北九州のものは葉先が丸く、香りの柔らかな「大葉春菊」または「ローマ」といわれる種類です。福岡の春菊は葉先にギザギザの刻みが入り香りが豊かな「中葉春菊」をよく見かけます。新幹線で20分もかからない距離ですが、やはりその地域独特の食材はあるのです。冬休みの自由研究の課題として、住んでいる地域に特有の料理や食材を調べてみてはいかがでしょうか。

令和6年度 子ども体験学習事業

異文化交流で心をつなぐ、特別な1日を!

～勇気・気持ち・笑顔で友達作り大作戦!!～

留学生との異文化交流を通してコミュニケーション能力の向上や夢を育む体験学習を開催します。普段はできない貴重な交流ができるチャンス! ぜひご参加ください。

日時 2月22日(土) 10:00開始 15:00ごろ解散

場所 嘉麻市 嘉穂総合体育館 サブアリーナ

対象 PTA会員のお子さん (小学1年生～中学3年生) ※子どもたちだけで活動します。

持ってくるもの 昼食、筆記用具等

申込期間 1月31日(金)

参加人数 最大100名まで、応募者多数の場合は抽選となります。

申込はこちらから

参加決定者には改めてメールにて内容をご連絡いたします。

主催:福岡県PTA連合会
企画運営:一般社団法人学びにSPARKを

第69回

九P長崎大会開催

学びを実践へ!

～集まろうで 語り合おうで やってみようで～



2日目の全体会の様子。長崎の伝統芸能「龍踊」も披露されました。



10月26・27日の2日間... 1日目の分科会ではワークショップ形式で研修が行われ...

「ト」の記念講演では、心が挫けない子育てについて、「悩んだら考えずに寝ろ」や「反抗期は子どもが悪いのではなく、成長ホルモンの影響」と...

(副会長 平嶋祐介)

表彰式

令和5年度のPTA活動で尽力された方々への表彰式も行われました。

おめでとうございます!

☆「きらりと輝く九州人大賞」大賞 枝松俊雄(新宮町立立花小PTA)

☆団体表彰 宇美町立宇美南中PTA、うきは市立浮羽中PTA、大木町立大莞小父母教師会、中間市立中間小PTA、嘉麻市立嘉穂小PTA、上毛町立唐原小父母教師会

☆個人表彰 木庭佳奈(宇美町立宇美南中PTA)、有村勇作(中間市立中間小PTA)、相原美由紀(上毛町立唐原小父母教師会)、緒方大輔(八女市立長峰小PTA)、香川哲也(宮若市立宮田南小PTA)、石田興三(岡垣町立海老津小PTA)、吉田伸也(田川市立後藤寺小PTA)、木下真智子(嘉麻市立上山田小PTA)

☆感謝状贈呈 松尾和昭(福岡県PTA連合会会長)



「きらりと輝く九州人大賞」大賞を受賞された枝松俊雄さん。

「家庭教育」

1校目の発表ではPTA活動への参加者不足などの課題が多く聞かれたが、2校目では少人数だからこそできる取り組みや自己有用感を高める工夫が発表された...

(副会長 杉山美智子)

第2分科会

特別分科会

野々村友紀子氏に難しい年ごろの子どもへの接し方など体験談をもとに話していただき、これから迎えるであろう子どもの反抗期への接し方はとても参考になった...

(副会長 星野美由紀)

「今日的課題」

議題は「PTA改革を真正面から考える」。活動の縮小や削減を主とするのではなく、目標の達成や活動の充実を目指して改革を行っているPTA活動について討議が行われ、学級懇談会や土曜授業を利用して交流の場を作る取り組みが紹介された。

(副会長 星野美由紀)

記念講演

(副会長 藤原健太郎)

参加者レポート

「人権教育」

宗像市立中央中学校に発表していただき、建設的な意見交換ができた。グループディスカッションでは他のPTAの活動を知ることができ、参考になる意見が多くあった...

(会長 鬼頭良典)



「家庭、学校、地域をつなぎ、みんなで楽しむPTA活動の発表をしました。大きな会場だったので緊張しました」(会長 内田忠治)



「誰でも関われる、開かれたコミュニケーションを目指しています。長崎大会は活気に満ちて力強く、刺激がいっぱいでした」(副会長 宮柱由紀子)

第3分科会で発表された宗像市立中央中PTAの皆さん。宗像市の2小1中で設立した「中央学園」の運営組織「サポート隊」の取り組みの紹介が大きな反響を呼びました。

主役!// 通信



北九州 地域と祝う150周年

直方市立植木小学校

本校植木小学校は令和6年度、創立150周年を迎えました。この記念すべき節目を祝うため、PTAでは地域の皆さまと連携し、1年以上かけて準備を進めてきました。

11月17日に記念式典を開催し、地元の特産品を使った紅白もちや豚汁などを振る舞いました。また、50年前に埋めたタイムカプセルを開封するイベントや、人文字による航空写真の撮影も行いました。記念誌やチラシの発行も地域の方と協力して進めました。

式典では、植木小の児童や、植木中学校、植木こども園によるステージ発表、そして地域の伝統「三申踊（みさるおどり）」も披露されました。植木小学校では、日頃から地域との密接な交流を通

じ、地域と共に歩む学校づくりを続けています。地域の方々との絆が児童たちの成長にもつながっています。

これからも地域と共に成長していけるPTA活動を目指します。

(植木小PTA副会長 高木明英)



150周年の人文字をつくりました

京築 ご協力あって

豊前市立横武小学校

横武地区では、春のお神輿や秋の神楽などの伝統行事や餅つき大会、そば打ち体験などたくさんのイベントがあります。他にも花いっぱい運動や登校時の見守り活動など、区長さんや民生委員さん

をはじめとする地域の方々が実施してくださっています。

横武小学校は、年々児童数が少なくなっており、PTAの会員数も同時に減っています。会員の負担軽減のため、規模を縮小して活動しています。そんな中、このように地域の方々の「子どもたちのために何かを」というお声はとてありがたいことです。

また、地域の方々との交流を通して、横武小学校の子どもたちが、いろいろなことを学び、心豊かにすごしていけるのではないかと感じております。

(横武小PTA会長 杉本理恵)



地域の方による登校時の見守り活動



筑豊 皆で作りあげた運動会

飯塚市立小中一貫校幸袋校小学部

幸袋校小学部では、10月12日(土)の運動会の事前準備として9月28日(土)に保護者、教職員および児童たちとともに運動場の除草作業を行いました。

当日は100名を超える方々にご参加いただき、子どもたちの練習や競技がやりやすくなったとともに、とても思い出に残る活動となりました。

また運動会当日はPTA各委員会がそれぞれの役割のもと、警備や案内、写真

撮影を行い、スムーズに運動会が進行されました。

今年度はコロナ禍で中止しておりましたPTA競技の復活ということで、6年生のリレー時にPTAチームを結成し、子どもたちと一緒に競技に参加いたしました。結果は子どもたちに惨敗しましたが、これもまた非常に思い出に残る活動となりました。

これからも「チーム幸袋」を合言葉に皆で一丸となり、子どもたちの笑顔のために活動してまいります。

(幸袋校小学部PTA会長 清原一樹)



子どもたちと一緒に運動会の競技を楽しみました

単Pが

PTA

福岡

地域全体が生徒を応援

福津市立福間中学校

福間中学校では10月上旬に2週間の文化ウィークを設定し、生徒たちが多様な文化に触れる機会を設けています。今年度は、大学の先生の化学講座、ペルーの楽団の民族音楽演奏、オペラ歌手の方のコンサート、近隣の高校の邦楽部の皆さんの太鼓演奏、卒業生の歌手の方のステージなどさまざまなイベントを行い、PTAとしてこれらを支援しました。

他にも文化ウィークでは、オーディションを通過した11組の歌やダンスなどの自由発表が行われました。会場となった中庭は、4階までの窓やテラスが約1200人の生徒たちで埋め尽くされました。

また、文化祭当日の合唱コンクールで最優秀賞に選ばれた4クラスは、イオンモール福津内のホールで合唱を披露する

機会も設けられており、地域とのつながりを深める役割も果たしています。

このように福間中学校では、PTAの支援により、地域全体が生徒たちの成長を見守り応援する温かい環境づくりを目指しています。

(福間中PTA会長 久保貴弘)



イオンモールで生徒たちが合唱を披露

北筑後

PTA活性化の先に

小郡市立御原小学校

本年度、まちづくり協議会主催の祭り「コスモス祭り」へ、PTAとしてゲームコーナー（輪投げとストラックビンゴ）を初出店しました。当日は秋休み期間中で、快晴に恵まれ、多くの子どもたちで賑わいました。

今回のこの取り組みは、コロナ禍以降、PTA活動自体が減少傾向の中、大切なことを思い出すことのできる良き機会となりました。子どもたちが喜ぶことは何なのか、地元小学校として、地域を盛り上げることにどう協力できるのかを「考え」「つながり」「実行に移す」と、子どもたちのあふれる笑顔にたどり着きました。

このことこそがPTA活動の醍醐味だと強く実感しました。

さらに子どもたちの安心・安全を見

守ってくださる地域の方々との交流も図れ、感謝を伝えることも叶いました。

今後も、地域との連携を大切に、PTAとして子どもたちの成長を応援していきます。

(御原小PTA会長 肥山浩三)



コスモス祭りのゲームコーナー

南筑後

地域へGO!

みやま市立大江小学校

大江小学校では、10月に子ども、保護者、地域が一体となって行う学校行事「地域へGO!」を行いました。これは、6年生の総合的な学習と関連させ、地域の史跡や施設、企業等を縦割り班で巡り、地域のよさを学ぶ活動です。本年度も、学校運営協議会に協力を仰ぎ、史跡等の説明を地域や市の方にいただいたり、引率を地域の方や保護者に担当していただいたりし、子ども、保護者、地域が

一体となって行いました。

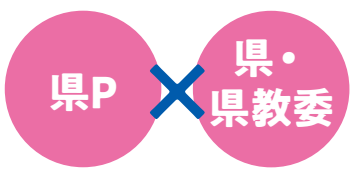
子どもたちは、地域を巡ることで、改めて自分たちの地域のよさに気づき、自分の住む地域に対して、誇りや愛着をもつことができました。これは本校の教育目標である「ふるさと大江に誇りを持ち未来を拓くたくましい子供の育成」につながっています。また、保護者からも「自分たちも知らなかった大江校区のよさについて知ることができた」などの声がありました。

今後も、学校、保護者、地域が連携した教育活動を充実させていきたいです。

(大江小PTA会長 田崎健太)



地域の方の引率で史跡等を巡りました



陳情対談会 教育懇談会

PTAからの要望に県が回答しました

11月20日、福岡県PTA連合会（県P）と福岡県・県教育委員会（県教委）が陳情対談会・教育懇談会を行いました。県Pが9月に提出していた陳情書（県PTA新聞11月号参照）に対し、県と県教委が回答しました。

令和6年度の陳情内容 (抜粋) ※1・2は重点要望

1 児童生徒の命と健康を守る安全対策

- 通学路周辺の環境整備等、関係機関と連携した**安全対策の推進**。
- SNSに関する**問題行動**等の実態を把握し広く情報提供を行い、保護者、地域への啓発を目的とした講習会等の充実。

2 教育の充実を図る教職員配置

- 小学校における**定数欠**や、中学校における**教科欠**について早急な解消を。
- いじめをはじめ様々な課題解決や学力向上に向けた**適正な教員配置**。
- 中学校における**部活動**において、部活動指導員を配置する等の予算確保と、指導員の資格向上。

3 教育環境の整備

- 地域間及び学校間格差が生じないよう教育環境の整備状況について、実態調査を徹底し、市町村区教育委員会に指導をお願いしたい。
- 体育館、特別教室等の**学校施設が避難所としての使用**も想定されるので、設備(空調・トイレ等)の充実をお願いしたい。

4 生徒指導の充実

- **スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー**等の配置時間の増加等。
- **危険ドラッグ等薬物乱用防止**のため、地域・警察との連携等指導体制の整備に努めていただきたい。

5 PTA活動の振興

- PTA活動がますます重要性を増している現状をふまえ、PTA活動の更なる充実のため、助成金については従来どおりの確保をお願いしたい。
- **保護者が働きながらPTA活動を行えるよう企業等への働きかけ**をお願いしたい。

6 教職員の離任者の早期発表

児童・生徒が年度の区切りをつけ、スムーズに新年度を迎えるために、**修了式までに教職員の離任式**ができるようお願いしたい。

7 その他

県が実施している**コミュニティ・スクール導入促進事業及び地域学校協働活動事業**について、事業内容がまだ認知されていないことから広報活動等により事業の周知をお願いしたい。



陳情内容と県の回答の全文を県Pホームページに掲載しています。ぜひご一読ください。



陳情対談会と教育懇談会の様子



「子どもたちのために」の思いは同じ。どんどん声をあげてほしい

会には県P会長、副会長、総務委員ら15名が参加。県からは教育庁教育監をはじめ、教育庁の各課のほか青少年育成課、労働政策課などから計

19名が出席しました。

陳情対談会では県Pが提出していた陳情書の重点要望について、県の関係課が回答。続く教育懇談会では、ざっくばらんに意見交換が行われました。特に「部活動の地域移行」について、県Pから「外部指導者はどんな人がどのように選ばれるのか」「財源はどうするのか」「吹奏楽部の場合、楽器や練習場所、指導者などはどの

ように決めるのか」などの質問が次々と飛び出し、県は丁寧に対応するとともに、保護者への周知を課題とし取り組んでいくと話しました。また、「特別支援学校と普通学校の選択」「子どものインターネット利用」「教職員の離任者の発表の時期」などについても活発に意見交換が行われました。

県への陳情内容は毎年、総務委員会がPTA会員から集めたアンケートをもとに作成しています。対談会や懇談会を終えて県は「PTAも県も子どもたちのために」という思いは同じ。保護者の皆さんが子育てや教育についてどんな疑問や要望をもっているのか私たちも知っていきたい。どんどん声をあげてほしい」と語り、鬼頭県P会長が「これからもタッグを組んで取り組んでいきたい」と応えました。

Interview

県への陳情は総務委員会が中心となり行っています。陳情を終えての感想などを総務委員長にお聞きしました！



鍋山義幸 総務委員長

―対談会に参加してみえたか？

初めて参加しましたが、思ったよりなごやかな雰囲気でした(笑)。県の方々も、いち保護者としての思いを交えながら回答してくださったので、同じ立場で忌憚のない意見を言い合えてとても良かったです。

―陳情に対する県の回答は納得できるものでしたか？

はい、一つひとつの項目に対して大変丁寧に回答していただけたと思います。すぐに対応できないことに関しても、どの課がどう取り組んでいくかなど具体的に聞けて安心しました。

―毎年陳情をすることにはどんな意義がありますか？

部活の地域移行やアレルギーのこと、エビエンの取り扱いなど、その時その時で課題がありますので、県とPTAが一緒に考えていくことはとても意義のあることだと思います。

陳情の回答は県Pのホームページで全文読めますので、ちょっと長いですが保護者の皆さんにぜひ目を通していただきたいと考えています。回答を見ることができると課題があるのが分かります。保護者の皆さんと課題を共有することが、学校や子どもたちの状況を良くしていくことにつながると思います。

―回答を総務委員ではどのように生かしていきますか？

これからまた来年度に向けたアンケートを作成しますので、今回の回答を踏まえた上でしっかりと皆さんの意見を吸い上げられるアンケートにしたいと思います！

令和6年度 子育て研修会

「みんなちがって、みんないい」

多様性社会実現に向けた一歩は「自分を理解する」ことから



「アンちゃん」こと
アン・クレシーニ氏

11月6日、春日市クローバープラザにて福岡県PTA連合会(県P)母親代表者が担当する子育て研修会が開催されました。

今回は北九州市立大学基礎教育センターひびきの分室准教授、アン・クレシーニ氏をお招きして「アンちゃん」と語ろう、多様性社会について講演いただきました。

同氏(以下「アンちゃん」)は昨年には日本国籍を取得していますが、早くから多様性社会への取り組みを行っていたアメリカ生まれということもあり、その生い立ちや経験をいかした観点から多様性社会実現の必要性についてお話しされました。

多様性社会というのはそれぞれ違いがある者たちが存在するだけではなく、お互いがそれを認めあうことが求められます。そうなるために何が必要なのか? 「アンちゃん」は、そこに無意識の偏見や先入観が原因となっていることを「アンコンシャス・バイアス」という言葉を使い、身近な例を用いて説明されました。過去の経験や知識、自身の信念を基にして何気なく生まれる言動そのものが、結果として「思い込み」や「決めつけ」、「押しつけ」となり多様性社会実現に向けての阻害要因となっている現状についても言及され、「ジェンダー(LGBT)」「多文化共生」「個性を理解する必要があることを教えてくださいました。」



アンちゃんを囲んで記念撮影♪おつかれさまでした!

多様性社会(ダイバーシティ)によるそれぞれの違いを認め合える社会の実現は、包括的社会(インクルージョン)として個々の違いが尊重され、かつ能力が発揮できる社会の実現に向けての貴重なステップであること、そしてそのためには「人との違い」についてもう一度、自分自身が学びなおす必要があることに、今回の研修会で気付くことができました。

多様性社会(ダイバーシティ)によるそれぞれの違いを認め合える社会の実現は、包括的社会(インクルージョン)として個々の違いが尊重され、かつ能力が発揮できる社会の実現に向けての貴重なステップであること、そしてそのためには「人との違い」についてもう一度、自分自身が学びなおす必要があることに、今回の研修会で気付くことができました。

理解し、そして認めあう関係を構築していくこと、それは子育て期における親子の関係においても重要となることについても説明されました。



多様性社会

Interview

研修会を終えて...

— 今回の講師の先生を選んだ理由は?
委員のみなさんと意見を出し合い、擦り合わせながら決めました。実は、アン・クレシーニ先生は、私の恩師からのご紹介でした。アン先生との出会いで、「多様性」という言葉について学びを深めるとても大切な日となりました。ありがとうございました。

— 研修会を終えてひとこと!

想定外の事にも一人ひとりが迅速に対応し、県P母代一丸となってやり切った研修会でした。アン先生の講演はこれからの多様性社会や子育てにどう向き合うのかを改めて考えさせられる、とても有意義なものとなりました。普段の生活の中でも、無意識の偏見かなと思うような場面もあり、アン先生の言葉を思い出しながら日々の生活を送っています。

次回の子育て研修会も、たくさんのご参加をお待ちしております!

(母親代表者会 代表 下原仁美、副代表 森山真実)

「子育て研修会」の企画・運営を担当するのは母親代表者会の皆さん。約半年にわたり、みんなで力を合わせて準備を行ってきました。当日もそれぞれの持ち場で力を発揮。無事、研修会を成功させることができました!

研修会の舞台裏



緊張するな〜...
研修会の大切さ、伝えたい〜



いよいよ開場...



花束贈呈



無事に終わって良かった〜

開場前...



アンさんの立ち位置は? プロジェクターは大丈夫?



開場までに準備しましょ〜



緊張感に包まれる開場前の控室。段取りや原稿を念頭にチェックします。

科学館情報

☆新春イベント 1月5日(日)・6日(月)・7日(火)
※参加費無料(ただし、入館料は必要)

①新春キッズチャレンジ
～めざせ!ホールインワック星～
パットゴルフゲームで遊びながら惑星について知ろう!プレゼントもあるよ!
【対象】高校生以下のお子様

②Mitakaで宇宙散策に
でかけよう!
Mitaka(国立天文台で開発されているソフトウェア)を使って宇宙空間を飛び回ってみませんか?



③SORA-Qってなに?
超小型の変形月面ロボットSORA-Qが動いている様子を実際に見ることができます。

④無料工作 開運干支飾り
「くるくるヘビ」をつくろう!
今年はヘビ年!風が当たるとくるくる回るかわいいヘビをつかって、運気アップ?!
【対象】高校生以下のお子様



©JAXA/タカラトミー/ノンニグループ(株)/同志社大学

☆コスモシアター番組情報

「おしりたんていコズミックフロント
～コズとなぞとき!うちゅうのおおどろぼう～」



コズミックロケットセンターが誇るHIP3型ロケット・宇宙船オシリウス1の打ち上げを見にきた謎解き大好き、知りたがりのミック。ところがそこに、世界中の珍しいものを集めている大泥棒のユニバースが現れる!その日盗もうとしているものは『なぞなぞの予告状』に書かれていた。この難しいなぞなぞを解いてくれるのは……。そうだ、どんな事件もプツと解決する名探偵おしりたんていしかいない! 助手のブラウンをつれてロケットセンターにやってきたおしりたんていがミックといっしょにクイズや迷路で調査を開始します。おしりたんていが謎を解きあかし事件をコズと解決!

©トルロ・ポプラ社/NHK・NEP・東映アニメーション

福岡県青少年科学館 久留米市東柳原町1713
☎ 0942-37-5566 (代) FAX 0942-37-3770

県教委通信

地域の未来を担う 子どもを育てよう

【地域学校協働活動】上毛町立友枝小学校の取り組み

地域と学校がパートナーとして連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域学校協働活動」が県内各地で取り組まれ、放課後の学習支援や体験活動、地域課題解決学習や郷土学習など、地域の状況に応じて多様な活動が展開されています。

上毛町立友枝小学校では、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」を目指し、学校経営に沿って、地域の方と連携しながら取り組むことができる活動を計画し、多くの体験学習に取り組んでいます。

そこでは、地域の方と「豆腐づくり」を行ったり、地域行事である「お田植祭」に参加したりするなど、子どもたちが地域を誇りに思うきっかけづくりとなる活動がたくさん実施されており、地域の方々も一生懸命に取り組む子どもの姿から、元気をもたらしているとのこと。

このような学びを通して、地域と学校がつながり、子どもたちに郷土愛が芽生えることで、地域の未来を担う子どもが育まれます。

今後とも、「地域学校協働活動」へのご理解とご協力をお願いします。



お田植祭の様子

1人で悩まないで

福岡県いじめレスキューセンターのお知らせ

福岡県では、いじめの早期発見・解消を図り、重大化・長期化を防ぐため、学校外の立場で、いじめに悩む子どもや保護者からの相談を受け付けています。

☎ 092-645-2567

対象事案

- 学校への相談を迷ういじめ
- 学校への相談後、第三者による支援を希望するいじめ

対象者

県内の小・中・高等学校・高等専門学校に通う児童生徒とその保護者

開設日時

10時～18時
※土曜日・祝日および年末年始を除く

メールでの相談や面談の予約など、詳細はHPをご確認ください



HPはこちら

社会福祉士などの資格を有する支援員が対応します



※センターは、民事・刑事上の責任追及、当事者である児童生徒への直接的な指導を行う役割は有していません。

いじめレスキューセンター以外にも、子どもの悩みに対応する相談窓口を設置しています。

詳しくはこちら



福岡県PTA連合会

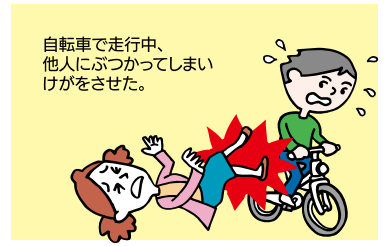
小・中学生総合保障制度のご案内

(こども総合保障)

学校内外でのケガや、偶然な事故による法律上の損害賠償責任などさまざまなリスクを補償します。



学校の休み時間に階段で転んでケガをした。



自転車で走行中、他人にぶつかってしまいケガをさせた。

さらに、おさまが病気になった時の補償や、おさまの持ち物の補償、扶養者の方に万が一があった時の補償など、多くの補償でおさまをお守りします。*



扶養者が不慮の事故で亡くなってしまった。



体育の授業中にボールが当たり、眼鏡が壊れた。



虫垂炎が悪化。腹膜炎を併発し、10日間入院し、手術を受けた。

この制度の詳細な内容は、こちらからもご確認いただけます。
『小・中学生総合保障制度』 <https://www.pta-corin.com/>



*補償内容、保険金額はプランにより異なります。○この広告に記載の内容は、2024年2月現在の内容です。ご加入の際は、パンフレットおよび重要事項説明書を必ずお読み頂いた上でお申し込みください。

お問い合わせ

福岡県PTA連合会 小・中学生総合保障制度事務局
TEL:0120-228-553

受付時間：平日/午前9時～午後5時 〒810-0022 福岡市中央区薬院4-3-5 セレス薬院5F 株式会社コーリン内
制度引受保険会社：AIG損害保険(株)、東京海上日動火災保険(株)、損害保険ジャパン(株)、三井住友海上火災保険(株)、Chubb損害保険(株)

S-240555 (2024-01)